

## 第8回

# 「夫婦の手紙」 全国コンクール



藤野高明（大阪府）	有田梢（広島県）	◇最優秀賞
伊藤俊二（京都府）	小沢富士子（静岡県）	◇佳作
藤野靖（青森県）	藤田まどか（札幌市）	◇優秀賞
藤野幹子（千葉県）	藤田久美子（別海町）	
藤野高明（大阪府）	藤野高明（大阪府）	

5月6日、夫婦桜の前で  
『第8回「夫婦の手紙」全  
国コンクール公開発表会』  
が行われました。

最優秀賞など10作品を松

前高校の秋本望さん（3年）、  
佐々木日向さん（2年）、  
石山航くん（2年）の4名  
が、それぞれの手紙に込め  
られた作者の思いを、感情  
豊かに朗読しました。

受賞者、受賞作品は次の  
とおりです。（敬称略。受  
賞作品は、最優秀賞と優秀  
賞のみを掲載。）

## 最優秀賞受賞作品

有田 梢

でも通す。精いっぱいの看  
病を。せめての思いでし  
た。

一年半。頑張って、そし

てあなたは旅立ちました。  
ごめんなさい。あなたに

ついた初めての、たつた一  
つのウソでした。

そつちへ行つても、エン  
マさんに舌を抜かれたら言  
えないとお詫びを、今、書い

ています。

あなた、ごめんなさい。  
あなたは、本当はガンだつ  
たのです。  
病院で告げられた時、悩  
みました。気楽そうに見え  
るあなたがこと病気に対し  
てどんなに小心か、よく解つ  
ていました。で、肝臓の疲  
れという事で押し通すこと  
にしました。  
辛いけどでも、貴重な毎日  
でした。あなたの希望は何

後二月の命。そして、あ  
なたをダマしている。この  
事実に胸のつぶれる思いの  
日々でした。時々、裏の畠  
に出てわっと泣きました。  
そして、山水で顔を洗つて  
家に入りました。  
毎日ウソを重ねました。

再び二十回ももらいに来て  
くれるかしら？昔話を持ち  
出すと、「そんなこと言う  
もんか。」つて、知らん顔  
していましたね。

最後に二人で病院の窓か  
ら見た月。私の肩にもたれ  
て、「月がきれいだね。」つ  
て微笑みました。あなたは  
たに一分一秒長く生きて欲  
しくて、私は男勝りに働い  
てできる限りの治療を続け  
ました。口紅をさすことも  
訳したのですよ。

## 優秀賞受賞作品 月がきれいですね

小沢富士子

ひと月のうち、二十回も  
違う人を連れて頼みに来た  
あなた。まだ若く愛が何か  
も知らない私は、母を介し  
てお断りしました。

あの日あなたは「最後に  
もう一度だけ二人で話をさ  
せてください。」と頭を下  
げました。あなたは、「星

の数ほど女性は居ますが、  
あなた一人を愛しています。」  
忘れていた私を、あなたは

再び二十回ももらいに来て  
くれるかしら？昔話を持ち  
出すと、「そんなこと言う  
もんか。」つて、知らん顔  
していましたね。

最後に二人で病院の窓か  
ら見た月。私の肩にもたれ  
て、「月がきれいだね。」つ  
て微笑みました。あなたは  
たに一分一秒長く生きて欲  
しくて、私は男勝りに働い  
てできる限りの治療を続け  
ました。口紅をさすことも  
訳したのですよ。